

北部保健所(中津地区)の感染症情報

1月

2025年 第3週 (1月13日~1月19日)



○インフルエンザの患者が減少しています。(11.00人/定点医療機関あたり)



- ・突然の高熱と全身のだるさ、筋肉痛などの全身症状が起こり、これらの症状と同時かあるいは少し遅れてのどの痛みやせきなどの呼吸器症状が現れてくる病気です。
- ・通常では発熱が2~3日持続したあと、1週間程度で回復します。時には重症になることもあります。

【予防】

- ・手洗いやこまめなうがいをおこなってください。
- ・十分な休養とバランスのとれた食事を心がけてください。
- ・乾燥しやすい室内では、加湿器などを使って、適切な湿度(50~60%)を保つことも効果があります。

~新型コロナウイルス感染症について~ (3.20人/定点医療機関あたり)



新型コロナウイルス感染症の対策は、通常の感染症対策に完全移行しました。

県民の皆さんへ4つのお願い

1. 「基本的な感染対策」で感染予防—室内の換気、手洗いの励行、咳エチケットなど
2. 「ワクチン接種」で重症化予防—高齢者や基礎疾患のある方は、特に接種をおすすめします
3. 「体調おかしいな？」は休んで感染の拡大防止—少しでも体調に異変を感じたら、ちゅうちょせず休みましょう
コロナは5日間、外出を控え療養を
4. 検査キット、解熱剤等の常備薬を準備—体調不良時の自宅検査・療養に備え、早めに準備しておきましょう

○感染性胃腸炎の患者が報告されています。(4.33人/定点医療機関あたり)

下痢嘔吐等の胃腸炎症状がある時は出来るだけ調理等に携わらないようにしましょう。血便などの胃腸炎症状があるときは早めに医療機関を受診しましょう。

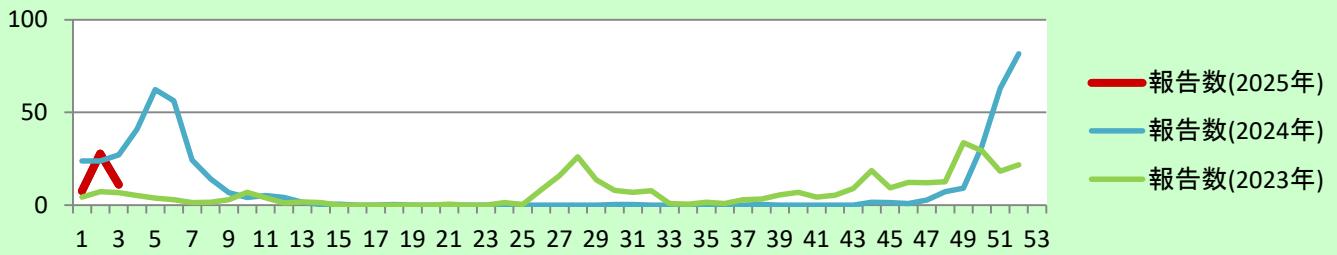
- * 食肉は十分に加熱しましょう。
- * 食肉や生野菜を扱う時、食事の前、トイレの後は石けん等で手をよく洗いましょう。
- * 患者の嘔吐物等进行处理する場合は手袋・マスク等を着用しましょう。



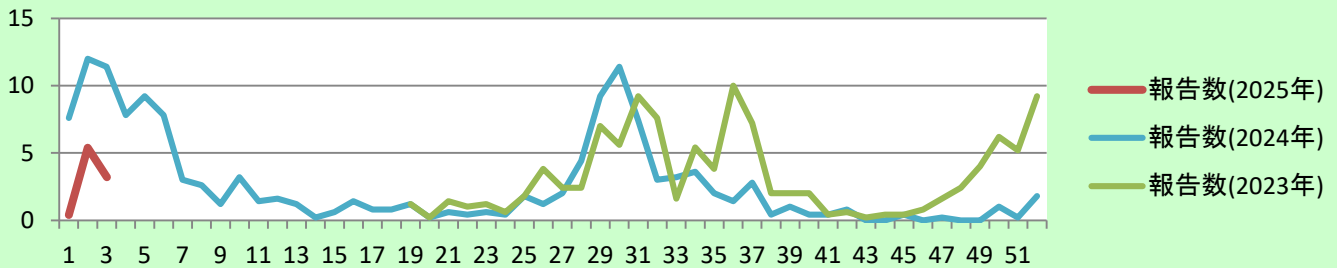
	インフルエンザ			RSウイルス感染症	咽頭結膜熱(プール熱)	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	感染性胃腸炎	水痘(水ぼうそう)	手足口病	伝染性紅斑(リンゴ病)	突発性発疹	ヘルパンギーナ	流行性耳下腺炎(おたふくかぜ)	マイコプラズマ肺炎	新型コロナウイルス感染症	
	A型	B型	不明													
0歳	0.40						0.33									0.40
1~3歳	1.80				0.33		1.33				0.67					0.80
4~6歳	2.80					0.33	1.67									0.40
7~9歳	2.40					0.33	0.33									0.40
10~14歳	1.80					0.33	0.67									0.20
15~19歳	0.40															
20歳以上	1.40															1.00
計	11.00				0.33	1.00	4.33				0.67					3.20
	11.00															
70歳以上(再掲)																
前週	27.80				0.33	1.67	2.33				0.33				0.33	5.40
	27.80															

※指定された医療機関(定点)から報告された患者数を、1定点あたりに換算して計上(定点医療機関 インフルエンザ定点5、小児科3)
※端数処理のため、合計と年齢ごとの数値は一致しないことがある。

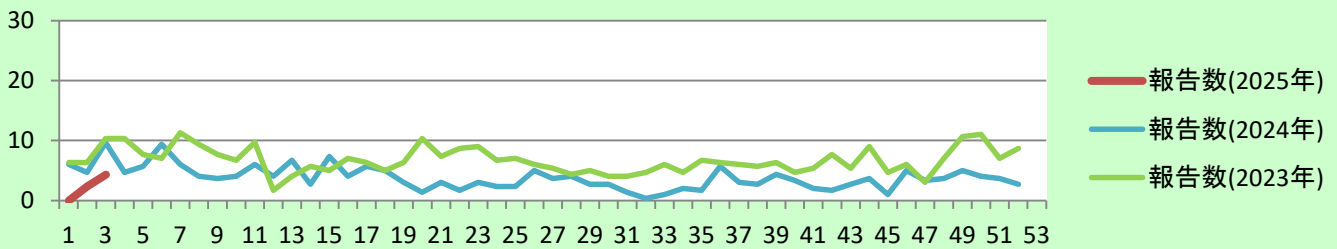
定点当たり報告数 インフルエンザ



定点当たり報告数 新型コロナウイルス感染症



定点当たり報告数 感染性胃腸炎



疾患ごとの警報・注意報の基準値は以下のとおりです。

症状	流行発生警報		流行発生注意報
	開始基準値	終息基準値	基準値
インフルエンザ	30	10	10
咽頭結膜熱	3	1	-
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	8	4	-
感染性胃腸炎	20	12	-
水痘	2	1	1
手足口病	5	2	-
伝染性紅斑	2	1	-
ヘルパンギーナ	6	2	-
流行性耳下腺炎	6	2	3
急性出血性結膜炎	1	0.1	-
流行性角結膜炎	8	4	-

・「警報」: 大きな流行が発生または継続しつつあると疑われることを指す。

・「注意報」: 流行の発生前だと、今後4週間以内に大きな流行が発生する可能性が高いことを指し、流行の発生後だと流行が継続していることが疑われることを指す。

お問い合わせ 北部保健所 0979-22-2210

a12089@pref.oita.lg.jp